

# 大森山公園維持管理等業務委託仕様書

## 1 目的

大森山公園は、動物園を核とし緑豊かな自然に囲まれた総合公園であることから、市民に安全で快適な公園施設と季節の草花を楽しめる環境を提供するとともに、動物園と一体になったイベント等の開催によるにぎわいを創出するため、高い技術と豊富な経験を持つ事業者を公募型プロポーザル方式により選定する。

### (1) 維持管理関係

- ア 安全で快適な公園施設の環境管理
- イ 季節の草花等で楽しめる公園づくり

### (2) にぎわい創出関係

動物園と一体になったイベント等の開催によるにぎわい創出

## 2 業務委託期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

## 3 業務内容

### (1) 維持管理関係

- ア 安全で快適な公園施設の環境管理
  - (ア) 巡回点検（駐車場、園路、展望台、法面、その他）および清掃、危険箇所の応急手当（修繕等については必要に応じ、委託者と協議）
  - (イ) トイレ清掃
  - (ウ) 除草（道路、法面、広場）
  - (エ) 冬囲い
  - (オ) 高・低木剪定
  - (カ) 蒸気機関車の冬囲いの設置とその撤去
  - (キ) 蒸気機関車の適時洗浄
  - (ケ) 公園内園路除雪（ビジターセンター前広場、歩道）
  - (ケ) 上水道の残留塩素測定
- イ 季節の草花等で楽しめる公園づくり
  - (ア) 市道沿線の花壇地拵え、花苗植付け
  - (イ) プランター花植え・配置（大森山公園1号線周辺ほか）
  - (ウ) 花壇および花畠管理（除草等）
  - (エ) 花壇散水（動物園内を除く）
- ウ 作業内容は、別紙1「作業数量表」、別紙2「作業実施時期一覧表」のとおりとする。また、花壇・花畠・プランターの管理については、

別紙3「花壇等管理表」のとおりとする。

(2) にぎわい創出関係

動物園と一体となったにぎわい創出

動物園と一体となった公園のにぎわいづくりとして、令和8年度に予定している次のイベントに合わせ企画提案し実施する。

〔参考〕令和8年度予定イベント

- ・春の動物ふれあいフェスティバル〔6月7日(日)〕(予定)
- ・夜の動物園〔8月11日(火)、12日(水)、14日(金)～16日(日)〕  
午後5時30分～午後9時
- ・秋の動物ふれあいフェスティバル〔10月4日(日)〕(予定)
- ・さよなら感謝祭〔11月29日(日)〕(予定)
- ・開園初日〔3月20日(土)〕(予定)

#### 4 業務計画および報告

- (1) 受託者は、契約締結後、速やかに業務履行について技術上の管理をつかさどる業務主任者を定め、委託者に通知すること。
- (2) 受託者は、契約締結後、速やかに業務工程表を作成し、委託者に提出し、承諾を得ること。
- (3) 受託者は、巡回点検中に施設の破損又は異常箇所を発見した場合は、直ちに委託者に連絡するとともに、速やかに安全を確保し、適切な処置を講じること。
- (4) 受託者は、作業日毎に作業日報の提出すること。
- (5) 受託者は、毎月の業務終了後、業務完了報告書に作業日誌と作業状況写真を添付し、速やかに提出すること。
- (6) 受託者は、必要に応じて作業内容を委託者と確認すること。

#### 5 注意事項

- (1) 業務実施に当たり、利用者等の安全確保に努めること。
- (2) 業務の履行に当たり、委託者と十分な協議・連絡を行うこととし、適切な作業方法と適切な人員配置を行うこと。また、作業日や作業内容の変更については、事前に委託者と協議をすること。
- (3) 作業の実施に当たっては、従業員の事故防止に十分注意するとともに、受託者は本業務に起因する事故に対する一切の責任を負うこと。
- (4) 業務は、関係法令および条例等に基づいて実施すること。
- (5) 事故発生の際は、応急処置等により被害の拡大を防止するとともに、関係機関へ迅速に連絡すること。
- (6) 除草については、設計業務量の範囲で委託者指示のもと、実施場所を変更する場合がある。
- (7) 花壇散水・除雪については、天候等により状況を判断し、実施する。

なお、設計書の人工(数量)と相違した場合は、協議により作業内容を変更する。

## 6 その他

この仕様書に定めのない事項については、その都度委託者との協議の上、決定するものとする。

## 作業数量表

作業内容	対象数量	回数	延実施数量	備 考
機械除草 I	8,020 m <sup>2</sup>	2 回	16,040 m <sup>2</sup>	道路除草 (肩掛式・散策路含む)
機械除草 I	2,000 m <sup>2</sup>	3 回	6,000 m <sup>2</sup>	道路除草 (肩掛式・第1駐車場周辺、グリーン広場散策路)
小計			22,040 m <sup>2</sup>	
機械除草 II	56,990 m <sup>2</sup>	1 回	56,990 m <sup>2</sup>	法面
機械除草 II	21,380 m <sup>2</sup>	2 回	42,760 m <sup>2</sup>	広場
機械除草 II	10,000 m <sup>2</sup>	2 回	20,000 m <sup>2</sup>	広場の3回4回除草箇所 (西側・ゲートボール場周辺。全体の約1/2)
小計			119,750 m <sup>2</sup>	
トイレ清掃	5 箇所	185 回	925 回	5日/週×37週 (通常開園期間) = 185回
トイレ清掃	1 箇所	48 回	48 回	3日/週×16週 (閉園期間) = 48回
小計			973 回	
高木剪定	147 本	1 回	147 本	$590\text{本} \div 2 = 295\text{本} \div 2 \approx 147\text{本}$
低木剪定	522 本	1 回	522 本	$(1,431 + 395 \div 0.6) \div 2 \approx 1,045\text{本} \div 2 \approx 522\text{本}$
冬囲い	969 本	1 回	969 本	
巡回点検	1.5 h/日	288 日	54 人	動物園通常開園期間(256日)毎日、閉園期間(16週)週2回、1回当たり1.5時間
花壇地拵え・花苗植付け	161 m <sup>2</sup>	2 回	322 m <sup>2</sup>	春花、夏秋花 計2回 (病害虫防除含む) ・・・市道沿線
プランター花苗植え・設置・配置	1 式		1 式	春花、夏秋花 計2回 (50基×2回)
花壇および花畠管理 (除草等)	1 式	8 回	8 回	6・7・8月 2回/月、9・10月 1回/月、計8回 (5・9月植付け時の除草除く)
花壇散水 (動物園内除く)	1 式	53 回	53 回	7・8月(9週)週3回、5・6・9月(13週)週2回、計53回、1時間/回
蒸気機関車への冬囲い設置・撤去	1 式		9 人	被覆5人+撤去4人 使用資材は動物園支給
公園内園路除雪	1 式		18 人	0.5日×2人/日×2日/週×9週
残留塩素測定	1 式		4 人	測定器は貸与とし、試薬は支給する
にぎわい創出提案	1 式		1 式	主要イベント (夜の動物園ほか4イベントを予定)
蒸気機関車の洗浄	1.5 h/回	9 回	9 回	塩風を受けたときの洗浄 (月1回4~11月、3月) (2人)

## 作業実施時期一覧表

業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道路・広場等除草 (状況により時期を調整)			←					→				
トイレ清掃	←								→			
剪定・冬囲い等							←		→			
巡回点検清掃	←								→			
花壇地拵え、花苗植付け、花壇お よび花畠管理(水やり・除草等)		←					→					
蒸気機関車へのシート被 覆・撤去								←→		←→	←→	
園路除雪作業									←→			
残留塩素測定	←								→			
にぎわい創出提案(イベント)		①		②		③	④				⑤	
蒸気機関車の洗浄	←					→					↔	

\* 期間内に上記業務を、別紙1の作業数量表のとおり行うこと。上記業務の実施日については、担当者と協議すること。

\* 動物園と一体となったにぎわい創出(イベント例)

- ① 春の動物園ふれあいフェスティバル(6月7日予定:午前9時～午後4時30分)
- ② 夜の動物園(8月11日、12日、14日～16日予定:午後5時30分～午後9時)
- ③ 秋の動物園ふれあいフェスティバル(10月4日予定:午前9時～午後4時30分)
- ④ さよなら感謝祭(11月29日予定:午前9時～午後4時30分)
- ⑤ 開園初日(3月20日予定:午前9時～午後4時30分)

## 花壇等管理表

項目	内 容
花壇	地拵え 花壇内の不要物を除去し、深さ20cm以上に耕起し、肥料（ぞうさん堆肥）等を施し土を十分に攪拌混合し、7日間程度の養生期間を置くこと。
	肥料 地拵え時に緩効性肥料（10-10-10）100g/m <sup>2</sup> 、ぞうさん堆肥（夏秋花植替時）を施肥すること。
	植え付け 花苗は、春花壇をパンジー、夏秋花壇をマリーゴールド、サルビア、ニチニチソウ、ベコニアとし、バランス良く色を変えること。植栽後は活着するまで適宜灌水すること。
	補植 植栽後、枯死した花苗は、請負業者の責任において補植すること。
	病害虫防除 ①害虫（アブラムシ類）予防用（オルトラン粒剤10g/m <sup>2</sup> 1回） ②灰色カビ病防除用（ゲッター水和剤1,000倍溶液を0.2%/m <sup>2</sup> 2回） ③病害虫が発生した場合は速やかに防除すること。 ※薬剤散布時は保護具を装着し、薬害の無いよう配慮すること。
	雑草等の除去 枯れた葉殻、花殻、雑草は、速やかに除去すること。
花畠	地拵え 不要物を除去し、深さ20cm以上に耕起し、肥料等を施し土を十分に攪拌混合し、7日間程度の養生期間を置くこと。
	肥料 地拵え時に緩効性肥料（10-10-10）100g/m <sup>2</sup> 、ぞうさん堆肥（夏秋花植替時）を施肥すること。
	植え付け 花の種は、夏・秋花壇用としてヒマワリ・コスモス、春花として菜の花を基本とするが、協議により変更する場合がある。植栽後は活着するまで適宜灌水すること。
	雑草等の除去 枯れた葉殻、花殻、雑草は、速やかに除去すること。
プランター	用土 プランター用に調合し使用する。
	植え付け 花苗は、春苗をパンジー、ノースポール等夏秋苗をマリーゴールド、テルスター、ベコニア等とし、バランス良く色を変えること。植栽後は活着するまで適宜灌水すること。
	補植 植栽後、枯死した花苗は、受託者の責任において補植すること。
	プランター プランターは簡易樹脂製を使用する。

\* 7・8月は週3回、5・6・9月は週2回とするが、天候等により状況判断し実施する。（散水回数は53回を標準とする。）

\* 肥料の種類は土壤、時期等により適宜変更可能とする。